※令和４年度以降入学生用

学校番号	3022

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	新編論理国語（東京書籍）						
副教材等	新訂版「最新国語便覧」（浜島書店） 四訂版「パスポート国語必携～国語常識の演習と確認～」（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・評論を中心に文章を的確に読み取る力や語彙力、内容から自己の意見を推論する授業です。日頃から社会問題などに目を向ける習慣をつけてください。
・疑問や課題を常に考えるようにしてください。文章に関することも大切ですが、自己の意見やそれの実現性などについても授業で扱います。
・国語常識（漢字や類義語・対義語、敬語、文法、語彙など）や表現技法について学習します。小テストやそれらに関することのみの授業も実施しますので、日ごろから継続して学習に取り組んでください。
・提出物の期限は必ず守ってください。提出遅延のないように、計画的に課題をこなしてください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
（２）論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	対話とおしゃべりの違いという筆者の主張を読み取るとともに、対話の必要性を理解する。 ［教材］ 対話とは何か ＊知っておきたいカタカナ語	a：本文に示された言葉をはじめ、評論頻出カタカナ語の意味を理解している。 b[読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を読み取り、文章の構成を理解している。 c：日常生活を振り返り、おしゃべりと対話を分けるという言語活動に対して、積極的に参加し意見を述べようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 発表	ワークシート グループワーク （言語活動） 行動の観察
	筆者の主張するコンピューターと人間の違いを読みとり、人がなぜ学ばなければならないかを考える。 ［教材］ 学ぶことと人間の知恵 ＊やさしい日本語	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：次単元の「要約」につながるよう、接続詞や指示語について意識しながら内容を理解している。 c：人が学ぶ理由を自分なりに考えるという言語活動に対して、積極的に参加し、意見を述べようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 発表	ワークシート グループワーク （言語活動） 行動の観察
	問題提起、筆者の主張、具体例、論拠を区別し、指定字数で要約する力を身につける。 ［教材］ 論理とは何か ＊つなげる力 ＊要約する力	a：評論頻出接続詞の持つ働きを理解している。 b[書]：教科書に掲載のある作品の中で教科担当者から指示された文章を読み、指定字数内で要約している。 c：要約課題に積極的に取り組み、要約する力の向上に努めている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動の観察
2学期	筆者の主張の要点を理解し、自己は他者によって形成されるということについて考え、日常生活の人間関係について振り返る。 ［教材］ 鏡としてのアンドロイド	a：社会的な話題について書かれた論説文を読み、その内容を基に自分の考えをまとめている。 b[読]：文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：本文での筆者の主張をもとに積極的に考えを深め、「他人は自分を映しだす鏡」であることを学校生活や日常生活で振り返ることができている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動の観察
	反対意見の主張方法を理解するとともに、名前を付けることで観念が思考の中に存在することを確認する。 ［教材］ 言葉は「ものの名前」ではない	a：根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 b[読]：言葉と「もの」の関係に注意しながら内容を読みとり、筆者がどのような考え方に反対しているかを理解している。 c：本文に取り上げられている例以外で、英語と日本語を比較し、名前を付けることで観念が思考の中に存在するようになったものをまとめ、意見を述べようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 発表	ワークシート グループワーク （言語活動） 行動の観察
	複数の図表を分析して問題提起し、図表から論拠を導き、文章を構成する。 ［教材］ 図表の読みとり方 ＊資料を活用して論述しよう	a：社会的な話題について書かれた資料を読みとり、その内容をまとめ整理している。 b[書]：資料を読みとり、論題を設定し、自分なりの意見を論述している。 c：自ら問題意識を持ち、自分の主張を資料を活用した客観的論拠に基づいて相手に伝えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動の観察

※令和４年度以降入学生用

3学期	「生き物の強さ」について知り、図表のデータに裏付けられた筆者の主張を読み取り、弱肉強食が自然の摂理ではないという結論を理解する。 [教材] 弱肉強食は自然の摂理か	a：内容や構成、論理の展開を的確に捉え、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 b[話/聞]：筆者の主張の根拠を図表と関連させて読みとり、自分の意見を話すことができる。 c：弱肉強食論でヒトがほかの種を絶滅に追いやることを正当化できないという筆者の主張を理解し、他の生物とどう共存するべきかについて自分の意見を伝えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動の観察

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　５　）時間

・書くこと　…　（　４０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間